

名古屋圏広域防災ネットワーク整備・連携方策検討委員会
広域交通ネットワーク検討ワーキングの設置について

1 設置の目的

名古屋圏の広域防災ネットワークの構築に当たっては、広域防災拠点の機能、配置等の検討に加え、それを支える広域交通ネットワークの形成が図られることが必要である。広域交通ネットワークについては、広域防災拠点の配置と併行し、都市構造の現状、将来の計画、本委員会におけるケーススタディの実施結果等を踏まえ、別途詳細な検討を進めていくことが必要であり、専門のワーキングを設置して検討し、本委員会に結果を報告することとする。

2 検討内容

広域的な災害対策活動を支える広域交通ネットワークに必要な要件について
名古屋圏における広域防災拠点の配置案から見た広域交通ネットワーク整備について（ケーススタディを含む）

3 メンバー案

座長 福和 伸夫 名古屋大学大学院教授
委員 若林 拓史 名城大学教授
静岡、岐阜、愛知、三重の各県及び名古屋市交通基盤担当部局
内閣府地震・火山対策担当
国土交通省中部地方整備局及び中部運輸局担当部局

計 15 名程度

広域交通ネットワーク検討ワーキングと委員会との関係フロー

